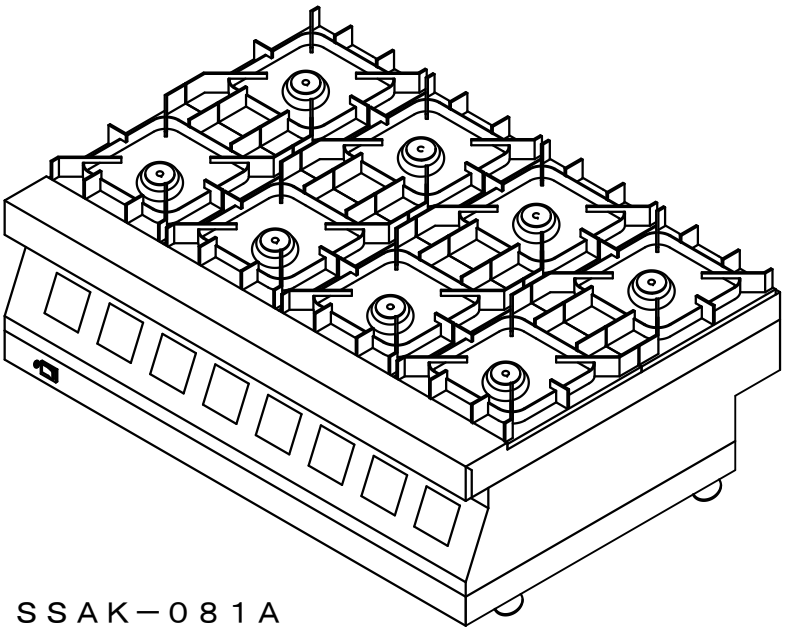
取扱説明書

業務用

SILK ROOM

マイコン式
業務用ガスコンロ

品番　ＳＳＡＫ－０８１Ａ
ＳＳＡＫ－０６１Ａ
ＳＳＡＫ－０４１Ａ



ＳＳＡＫ－０８１Ａ

家庭用には使用しないでください

このたびは、マイコン式業務用ガスコンロを、お買い上げ頂きましてありがとうございます。
製品を末永く安全に使用していただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
よく理解した上で正しくお使い頂き、いつでも取り出せるところに、保管しておいてください。

目　次

■《ご使用前に》または《安全に正しくお使い頂くために》・・・・・・・・・２
■表示と意味
■絵表示について
■ 特に注意していただきたいこと・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３～５
■ガス漏れの処置
■使用ガスについての注意
■火災注意
■火災予防
■異常時の処置
■注意－使用上の注意
■お願い
■ 各部の名称と仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ６～７
■各部の名称
■消耗品
■仕様表
■ 設置について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ８～９
■設置前の準備
■設置場所
■設置方法
■試点火及び試運転
■ ご使用方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ９～12
■ご使用前の準備
■操作の方法
■安全装置
■ご使用時の注意
■停電時・災害時のご使用方法
■操作パネル使用方法
■ 日常の点検・お手入れ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13～15
■点検・お手入れの際の注意
■点検
■お手入れ
■点火プラグ、フレームロッドの点検・お手入れ
■バーナキャップのお手入れ
■ 故障・異常の見分け方と処置方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
■ 長期間使用しない場合・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
■ アフターサービスについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
■サービス（点検・修理など）を依頼される前に
■転居される場合
■保証について
■消耗品
■補修用性能部品の最低保有期間について
■連絡先
■ 保証書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18

▣《ご使用前に》または《安全に正しくお使い頂くために》

安全に正しく使用して頂くために必ずお読みください。

ここに示した注意事項と絵表示は機器を安全に使用していただきお客様や他の人々の危険や、財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

■表示と意味

誤った取り扱いや設置により生じる危害・損害の程度を３つに区分しています。

⚠危険	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定されることを表しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを表しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

■絵表示について次のような意味があります。

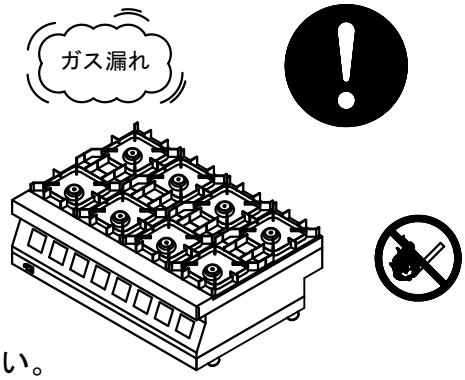
	一般的な注意	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」の内容です。
	火災注意	このような絵表示は、火災に気をつけていただきたい「注意喚起」の内容です。
	火気禁止	このような絵表示は、火気を使ってはいけない「禁止」内容です。
	高温注意	このような絵表示は、高温に気をつけていただきたい「注意喚起」の内容です。
	一般的な禁止	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	触手禁止	このような絵表示は、手を触れてはいけない「禁止」内容です。
	必ず行う	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

▣ 特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください。）

⚠ 危険

■ ガス漏れの処置

ガス漏れに気付いたときは①～③の処置が終わるまでの間、絶対に火をつけたり電気器具（換気扇その他）のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差し及び周辺の電話を使用しない。



炎や火花で引火し爆発事故を起こすことがあります。
①すぐに使用をやめ、ガスの元栓を閉じて下さい。
②窓や戸を開けガスを外へ出して下さい。
③お買い上げの販売店またはガス事業者に連絡して下さい。

⚠ 警告

■ 使用ガスについての注意

必ず形式銘板（機器右側面に貼付）に表示しているガス（ガスグループ）及び電源（ＡＣ１００Ｖ）を使用する。
転居した時も、供給ガスの種類・電源が銘板の表示と一致していることを必ず確認する。

不完全燃焼により一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどしたりすることがあります。また、故障の原因にもなります。
わからない場合はお買い上げの販売店またはガス事業者に連絡してください。

例：都市ガス12Ａ，13Ａの場合

■ 火災注意

スプレー、ガソリン、ベンジンなど引火のおそれのあるものを近くで使用しない。
機器の周囲にスプレー缶を置かない。

火災注意

熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発のおそれがあります。

■ 換気に注意

窓を開けるか、換気扇を回すなどして必ず換気をしてください。

不完全燃焼による一酸化炭素中毒で死に至る危険があります。

■ 火災予防

火をつけたまま放置することは禁止します。

料理中のものが焦げたり、燃えたりして火災になる場合があります。

■ 火災予防

機器の上やまわりには、可燃性（カーテン、新聞紙、紙袋など）や引火性（エアゾール缶など）のものは置かない。

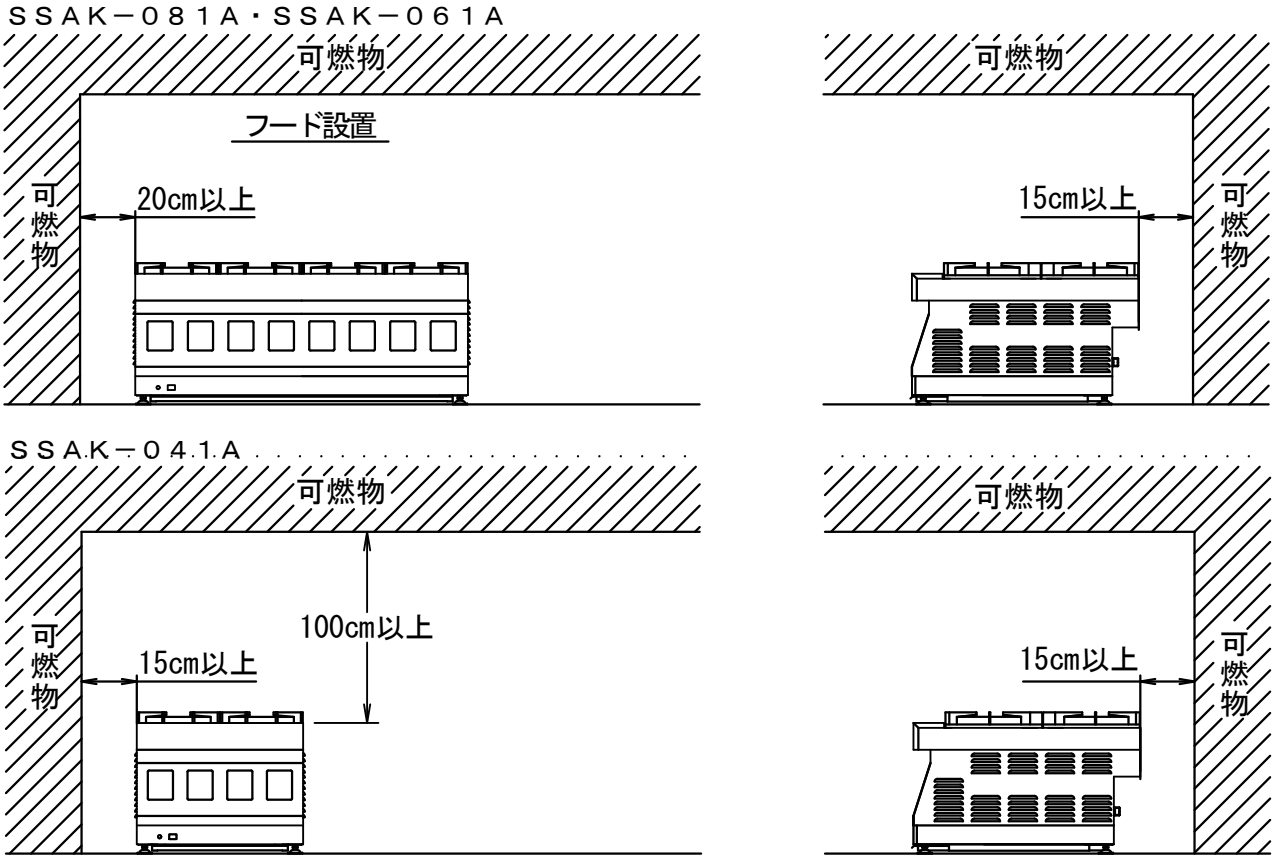
焦げたり、燃えたりして爆発や火災の原因となります。

▣ 特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください。）

⚠ 警告

■火災予防

設置や移動の際、（家具や壁・棚など）可燃性の部分から下図寸法を守って設置する。



■ 異常時の処置

使用中に異常な燃焼･臭気･異常音が感じられたときや、地震･火災など緊急の場合は、あわてずに機器の電源スイッチを切り、ガスの元栓を閉じて使用を中止する。

故障・異常の見分け方と処置方法（16ページ）に従って下さい。

ガス栓を閉じる

■ 点火確認･消火確認

使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中もときどき正常に燃焼していることを確かめる。

使用後は消火と電源スイッチが「ＯＦＦ」になっていることを確かめ、ガスの元栓を必ず閉じて下さい。ガス漏れを防止するためです。

■ 日常の維持管理

日常の点検･お手入れを実施して火災予防上支障のない状態に維持管理することが、火災予防条例で求められています。

器具内部に油汚れが蓄積すると火災の原因となります。また、炎孔が詰まったり消耗したバーナは、未着火、立消えの原因となり、ガス漏れの危険が増します。

▣ 特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください。）

⚠ 注意

■ 使用上の注意
ガス接続
ゴム管は使用できません。

都市ガスは金属可とう管で、ＬＰガスは金属フレキシブルホースで必ず接続してください。

■ 使用上の注意
使用中や使用直後は、高温部（ゴトク・汁受け・バーナ等）には触れない。

機器本体とその周辺及び調理器具が熱くなります。
特に小さい子供がいる場合は火傷に注意して下さい。

■ 使用上の注意
調理専用器具ですので調理以外の用途には
使用しない。

火災注意

過熱・異常燃焼による焼損や火災などの原因になります。

■ 使用上の注意
衣類の乾燥などに使用しない。

衣類が落下して火災になることがあります。

■ 使用上の注意
お手入れの際に、機器と設置台の間に水をかけたり、機器に直接水をかけたりしないでください。

漏電や機器故障の原因となります。

■使用上の注意
機器底部のスキマに物を入れない。

機器底部からの冷却用空気の吸込みが悪くなり、
機器が高温になり故障の原因となります。

■ 使用上の注意
コンロを覆ってしまうような大きな鉄板、陶板類や補助具などを使用しないでください。

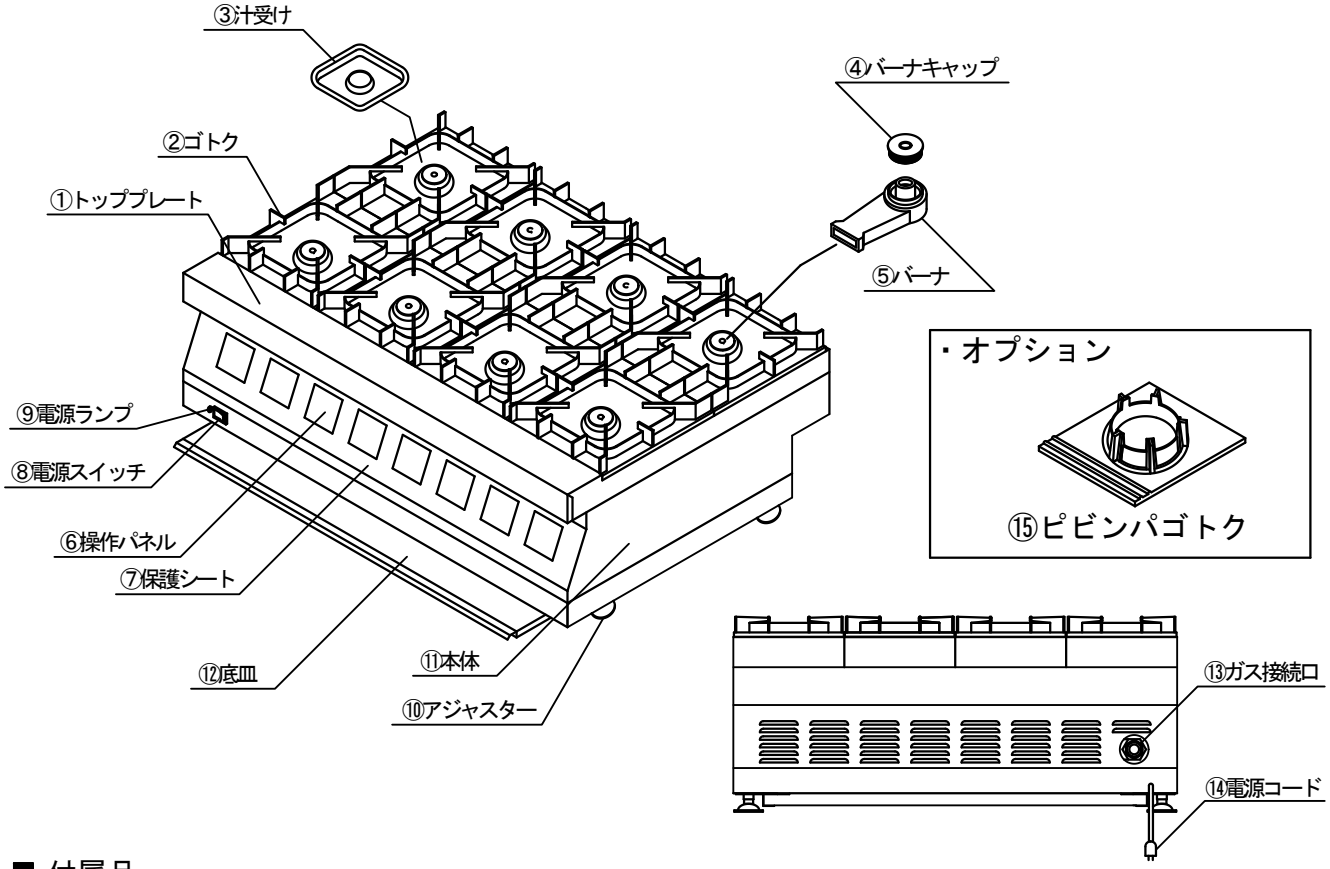
不完全燃焼による一酸化炭素中毒の危険があります。

■ 使用上の注意

・ゴトクと汁受けはこの調理器具用の付属品以外は使用しないでください。
・なべをお使いになるときは２４ｃｍ以下のものをご使用ください。
・この製品は業務用です。家庭用には使用しないでください。

▣ 各部の名称と仕様

■ 各部の名称



■ 付属品

Ｎｏ.	部　品　名　称	は　　た　　ら　　き
①	トッププレート	ゴトク及び汁受けを保持する部品
②	ゴ　　ト　　ク	鍋を保持する部品
③	汁　　受　　け	鍋からの吹きこぼれを受ける部品
④	バーナキャップ	燃焼し熱を発生する加熱源
⑤	バ　　ー　　ナ	ガスと空気を混合する部品
⑥	操 作 パ ネ ル	点火・消火・火力調節のための操作パネル
⑦	保 護 シ ー ト	操作パネルを防水･防塵保護する為のシート（各コンロの位置表示をかねています）
⑧	電 源 ス イ ッ チ	機械を動作する為のスイッチ
⑨	電 源 ラ ン プ	電源スイッチ「入」の時に点灯する表示ランプ
⑩	ア ジ ャ ス タ ー	機器の水平度と高さを調節する部品
⑪	本　　体	機器の主たる構成部品
⑫	底　　皿	ゴミなどを受ける部品
⑬	ガ ス 接 続 口	ガスの取入口
⑭	電　源　コ　ー　ド	ＡＣ１００Ｖコンセントにつなげ、機器に電気を送るコード

■ オプション

⑮	ピビンパゴトク	鍋を保持する部品

▣ 各部の名称と仕様

■ 消耗品

バーナ・バーナキャップ・汁受け・ゴトク・（オプション）ピビンパゴトク

■ 装着時の注意点

・汁受けをトッププレートに確実にセットしてください。斜めにセットされた場合は点火不良をおこして、着火しない場合があります。また、着火した場合でも、燃焼不良をおこし、火力が弱くなったり、立消えしたりする場合があります。

■ 仕様表

記載事項		記載内容		
品番		ＳＳＡＫ－０４１Ａ	ＳＳＡＫ－０６１Ａ	ＳＳＡＫ－０８１Ａ
形式名		ＳＳＡＫ－０４１Ａ	ＳＳＡＫ－０６１Ａ	ＳＳＡＫ－０８１Ａ
コンロの数		四口	六口	八口
表示ガス消費量	ＬＰ	１１．８０ｋＷ	１７．７０ｋＷ	２３．６０ｋＷ
	１２Ａ	１１．２０ｋＷ	１６．８０ｋＷ	２２．４０ｋＷ
	１３Ａ	１２．００ｋＷ	１８．００ｋＷ	２４．００ｋＷ
空気調節器		固定式		
定格電圧		ＡＣ１００Ｖ		
定格消費電力　５０/６０Ｈｚ		６５/６４(W)	９０/８８(W)	１１５/１１３(W)
寸法（幅×奥行×高さ）		450×600×373.5(mm)	670×600×373.5(mm)	890×600×373.5(mm)
ガス接続口		ねじ接続Ｒ１/２		
立消え安全装置		あり（フレームロッド方式）		
フード		～	必要	
質量		３０ｋｇ	４５ｋｇ	６０ｋｇ

※本製品には鍋は付属されおりません。
※予告なく仕様に一部を変更させていただくことがありますので、ご了承ください。

▣ 設置について

■設置前の準備

・機器にあったガス元栓を準備してください。（仕様表参照）
・機器のガス取り入れ口とガス元栓の位置にあった金属可とう管、または、金属フレキシブルホースを準備してください。
・機器の消費電力に合わせ、漏電ブレーカーに接続されたＡＣ１００Ｖコンセントを準備してください。（仕様表参照）
・機器をダンボールから取り出して包装物をすべて取り除き、付属品を確認してください。

各機種の付属品数量一覧

形式番号	ゴトク	汁受け	取扱説明書
ＳＳＡＫ－０８１Ａ	８	８	１
ＳＳＡＫ－０６１Ａ	６	６	１
ＳＳＡＫ－０４１Ａ	４	４	１

ご注意：本製品には鍋は付属されておりません。

■設置場所

・換気に注意してください。しめきった場所で長時間使用すると空気中の酸素が減少し、不完全燃焼による一酸化炭素中毒の危険がありますので、ご使用と同時に換気扇を回すなど換気にご注意ください。
・機器は可燃物から規定の寸法以上離して設置してください。
・機器の質量は約３０kg～６０kgありますので、十分な耐荷重の台に設置してください。
・エアコンやスポットクーラーの風が機器にあたらない様にご注意ください。横風があたると燃焼不良を起こし、火力が落ちたり、立ち消えする場合があります。
・棚の下など落下物がある危険性の場所は避けてください。

■設置方法

・機器の設置、移動及び付帯工事はお買い上げの販売店に依頼し、安全な位置に正しく設置してください。
・機器のガス取り入れ口とガス元栓を接続工事してください。

ガス種	機器の ガス取り入れ口	ガス接続	接続工事
都市ガス (12A・13A)	Ｒ１/２	金属可とう管	ガス可とう管接続工事監督者のもとで 行うか又は自ら行うこと
ＬＰガス	Ｒ１/２	金属フレキシブル ホース	液化石油ガス設備士が工事を行うこと

・機器のアジャスターを調整し、ガタツキがない様に調整してください。また、機器の水平度を調整してください。
・機器の電源スイッチを『切』にして電源コードのプラグをコンセントに確実に差し込んでください。

▣ 設置について（つづき）

■試点火及び試運転

・機器設置完了後は試点火及び試運転を行ってください。
設置直後は機器内部及び接続配管内部に空気が残っていますので、試点火を行ってもすぐに着火しませんが、故障ではありません。
空気が完全にぬけて燃焼ガスに着火するまで点火操作を繰り返してください。

およそ着火するまでの時間は約１分です。

※全口数のバーナを点火してください。
※試点火の方法は１０ページの中の『操作の方法』にしたがって行ってください。
※空気が出ている間も点火のため放電を続けます。規定時間内に着火しないため、エラーメッセージ『Ｅ１』が表示され警報がなりますが故障ではありません。調理ボタンを押してリセットし、再度、調理ボタンを押して再点火してください。この作業を着火するまで続けてください。
※接続管が長い場合及びガス管内部にも空気が残っている場合には、更に時間がかかる場合があります。

試点火が完了しましたら、もう一度、全バーナに着火し試運転を行ってください。

▣ ご使用方法（設置完了後の標準的な使用方法説明）

■ご使用前の準備

・ 装着部品（ゴトク・汁受け・バーナ・バーナキャップ）がもれなく確実に装着されていることを確認してください。
・ 機器とガス元栓が金属可とう管又は金属フレキシブルホースで配管されていることを確認してください。
・ 機器の電源プラグが電源コンセントに接続されていることの確認し、電源コンセントは漏電ブレーカーに接続されている回路をご使用ください。
・ 電源スイッチが「ＯＦＦ」の位置であることを確認してください。
・ 換気扇を回すなどして換気をしてください。

■操作の方法

・ 操作パネルの詳しいご使用方法は１０ページの『操作パネル使用方法』を参照ください。
・ ガス元栓を開けてください。
・ 機器正面の左下にある電源スイッチをＯＮにしてください。
作動音がして元電磁弁が開き、電源ランプが点灯します。
・ 点火は保護シートのコンロ位置表示にしたがって、操作パネルのボタンを選択し、調理ボタンを１回押してください。『チッチッチッ』という音とともに点火を開始します。
点火後、予めプログラムされた火力と時間で調理を自動的に行います。
工場出荷時のプログラム設定は次のとおりです。

強火	５分
弱火	８分
強火	１０秒

・ 設定時間が終了すると消火しブザーが３回鳴り、時間表示部が００で点滅し調理が完了したことをお知らせします。再度調理ボタンを押すと点滅が消え待機状態になります。

■火力の調節

・ 火力の調節はあらかじめ最良の状態に調節してありますので必要ありません。調理内容によって必要な場合には『操作パネル使用方法』を参照し、プログラム時間の設定を調整してください。

▣ ご使用方法（設置完了後の標準的な使用方法説明）

■安全装置

① 再点火システム
調理開始時に点火ミスを起こした場合には自動的に再点火します。
７秒間経っても着火しない場合は自動的にガスを遮断します。
② 立ち消え安全装置
調理中に消火した場合にはガスを遮断します。

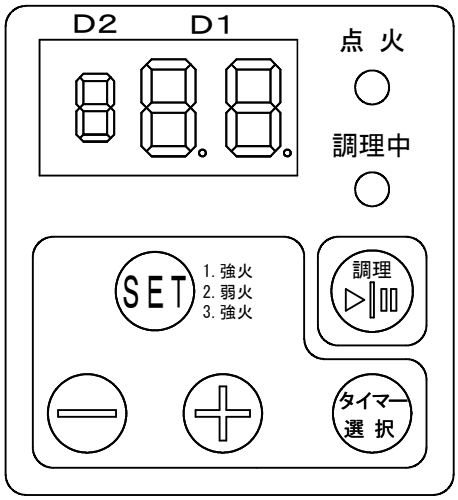
■ご使用時の注意

・ 操作パネルのボタンは必ず指先で押してください。先端の鋭利なものなどを使用しますと操作パネル表面が破損します。
・ 吹きこぼれ等によって消火していないか確認してください。

■停電時・災害時のご使用方法

・ ご使用中に万一停電が起こった場合、強制的に消火します。あわてずに電源スイッチを『ＯＦＦ』に戻し、ガスの元栓を閉じておいてください。
停電復旧後は通常の操作の方法にしたがって点火をおこなってください。
・ 災害時にはあわてず電源スイッチを『ＯＦＦ』に戻し、ガスの元栓を閉じてください。

■操作パネルご使用方法



ディスプレー（Ｄ１）赤色	：二桁で時間を分又は秒で表示します。調理時には出来上りまでの時間を分で表示、１分を切ると秒で表示し、調理終了時には点滅して知らせます。プログラム内容設定時には各調理段階の設定時間を表示します。
ディスプレー（Ｄ２）緑色	：一桁で調理時は１～４のプログラム番号を、プログラム内容設定時は１～３の調理段階番号を表示します。
点火ランプ	：着火中を点滅で知らせ、着火後、炎を検知している間点灯します。
調理中ランプ	：調理の開始を点灯して知らせ、調理終了時には調理ボタンを押さない限り点滅し続けて調理完了を知らせます。
ﾀｲﾏｰ選択ボタン（ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ選択）	：一回押すと現在のプログラム番号を Ｄ２ に表示し、連続して押すとプログラム番号が１→２→３→４→１～の順に切替わり四つすとプログラムを切り替えます。
調理ボタン	：調理の開始・停止及び調理後点滅表示の解除やエラー時のリセットを行ないます。設定時には、設定値の決定を行ないます。
ＳＥＴボタン	：長押しによりプログラム内容設定モードになります。設定モードに切替わった後は調理の三パターン（１.強火→ ２.弱火→ ３.追炊き）を１より順に切替えます。
＋ボタン	：プログラム内容設定モード時に設定時間を１ずつ加算します。長押しにより自動的に加算します。
－ボタン	：プログラム内容設定モード時に設定時間を１ずつ減算します。長押しにより自動的に減算します。

■ ご使用方法（つづき）

【調理方法】

１．電源ＯＮ
本体全面左下のメインスイッチをＯＮしますとスイッチの横にある電源ランプ（緑色）が点灯し、元弁（メインバルブ）が開き待機状態になります。待機状態では、操作板の全てのランプは消灯しています。
２．釜をセットして下さい。
３．プログラム選択
タイマー選択 ボタンをおすと Ｄ２ に現在のプログラム番号が表示されます。表示は約２秒後に自動的に消灯します。プログラム番号を変更するには、プログラム番号表示中に続けてもう一度 タイマー選択 ボタンを押すと、ボタンを押す度に順に次のプログラム番号に切替わりますので、１～４のプログラムからお好みの番号に合わせて下さい。
注）工場出荷時は、プログラム１～４の全て、調理パターンは強火５分 → 弱火８分 → 追炊き１０秒と同一の設定になっています。【プログラム内容設定方法】を参照の上、お好みの時間に調整して下さい。
４．調理開始
調理 ボタンを一度押しますと、点火ランプ・調理ランプが点灯し Ｄ２ に現在のプログラム番号が、Ｄ１ に調理完了までの時間が分単位で表示され、調理を開始します。
調理完了までの時間が残り１分を切りますと自動的に秒単位の表示に切替わり５９から減算されます。
５．調理完了
調理が完了しますと、ブザー（ピーッ、ピーッ、ピーッ）が三度鳴り、点火ランプとプログラム番号が消えて、調理ランプ・仕上り時間表示が点滅を続けて調理の完了を知らせます。 調理 ボタンを一度押しますと解除され、全てのランプ・表示は消え待機状態になります。
尚、調理中に 調理 ボタンを押しますと同様に調理は停止（解除）され待機状態に戻ります。
（ご注意）
調理完了後５分～１０分程度は、蒸らすために蓋を開けないで下さい。

【プログラム内容設定方法】

この製品は、個々のプログラムのなかで１（強火）→２（弱火）→３（強火）と火力が変化し、お好みに応じて各々の火力の調理時間を設定することが出来、４種類のプログラムを記憶することが出来ます。
又、制御回路はすべて独立していますので特定のコンロのみ設定変更することが出来ます。
１．電源ＯＮ
本体全面左下のメインスイッチをＯＮして、スイッチの横にある電源ランプ（緑色）が点灯し、操作板の全てのランプは消灯している待機状態になっていること確認して下さい。
２．変更したいプログラムの選択
タイマー選択 ボタンを押して、設定を行ないたいプログラムの番号に合わせて下さい。（調理方法３．「プログラム選択」の項参照）
３．タイマー設定機能への切替
ＳＥＴ ボタンを２秒以上押し続けると、タイマー設定機能に切替わりプログラム番号表示部に１（強火）→２（弱火）→３（強火）の設定番号が時間表示部に現在の設定時間が点滅表示され、現在選択状態にあるプログラムの設定時間を変更することが可能な状態になります。
４．時間設定の変更
ＳＥＴ ボタンを押す度に１、２、３、と設定番号が変化し１に戻りますので、変更したい設定番号に合わせ、 ＋ － ボタンを押して任意の時間を設定して下さい。＋ ボタンは加算、－ ボタンは減算です。
＋ － ボタンは押し続けると自動的に加算又は減算を行ないます。
各設定の調整範囲は次の通りで、この範囲内で調整して下さい。
　１．強火（０１～２０分）
　２．弱火（００～３０分）
　３．強火（００～９９秒）
５．時間設定の決定
時間設定が完了しましたら、調理 ボタンを押して下さい。点滅表示が消え、設定内容が決定されて記憶します。

■ ご使用方法（つづき）

■エラーについて

・この製品には、回路チェック機能が装備されており、点火や燃焼の異常時にエラーメッセージとブザーでお知らせます。
・エラー表示は時間表示部に下記の様に表示し、ブザーが短い間隔で鳴りつづけます。エラーの解除は 調理 ボタンを１回押して下さい。

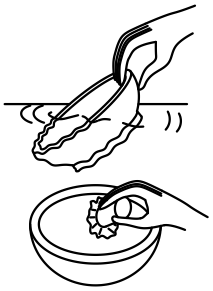
表示内容	異常現象名	異常の現象
Ｅ１	初期不着火発生	初期点火時、規定時間以内に点火できなかった場合
Ｅ２	途中失火発生	燃焼中に炎が検知されなくなった場合
Ｅ３	擬似火炎検知	繰返し使用時、点火時に残炎が検知された場合
Ｅ４	消火異常	消火状態の時に炎が検知された場合

■Ｅ２途中失火時の対応についてのお願いとご注意

・この製品には、調理中何等かの原因で火が消えＥ２を表示し、ブザーが短い間隔でなりつづける「途中失火」になった場合、＋キーを押すことで、継続調理を行う機能が内蔵されていますが、「強火」「弱火」の場合、分単位のセットですので、最長で５９秒間調理時間が延びた状態での継続調理となります。
（例）強火６分（又は弱火６分）でセットして調理３分５９秒（表示は３分）で途中失火し、Ｅ２表示したとき、＋キーを一度押しますと、４分００秒（表示は４分）から継続調理を行いますので、強火（弱火）モードが５９秒延長された状態で、調理が継続されます。
３分２０秒で途中失火した場合は、２０秒間延長されることになります。
・なお、追炊きの場合は秒設定となっておりますので、途中失火した表示秒数から継続します。このように、途中失火の際は、仕上がりに差が出る場合がございますのでご注意ください。

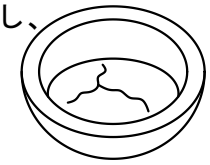
■ 新しい石鍋をご使用になる時は

石焼ピビンパ用の石鍋は天然の耐熱性を持ち高熱を保って冷めにくいのが特徴ですが、急な温度変化には弱く、新しい石鍋をそのまま強火にかけると割れてしまいます。
耐久をよくするためにも、次のとおりならし焼きを行ってください。



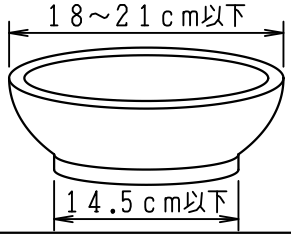
① まず、濃い目の塩水（約１０％）に一晩つけておきます。
灰色だった石鍋が黒くなってきます。
② さっと水気をとって、弱火にかけます。
乾いて熱くなってきたら、ごま油を内側、外側にまんべんなく塗り弱火で加熱します。
ごま油が黒くなってきたら火を止め、自然に冷まします。ある程度冷えたら軽く洗い、②からの工程を２～３回繰りかえし行います。
③ ②の工程を繰りかえして行うと石鍋は『黒光り』し、長年使い込んだような色に変わってきます。そのようになれば石鍋の準備は完了です。

※ 注意
熱い石鍋を急に水に浸けると、急激な温度変化に弱い石鍋は割れてしまいます。
ならし焼きをしておけば耐久性がよくなりますので、ぜひ実行しておいてください。
石鍋は使い込むと右のようにヒビが入ってきます。少々のヒビは油が浸透し、隙間を埋めてくれますので調理上問題ありません。さらに使い込んで隙間が広がってきたら寿命ですので、新しい石鍋に交換してください。



〈※石鍋は、この商品には含まれておりません。〉

・石鍋の大きさは１８～２１ｃｍのものを使用してください。
※極端に小さいものや、大きいものはゴトクにのらない場合があります。



※石鍋の加熱は１０分以内でお願いします。
長時間加熱するとヒビが入りやすくなり割れる原因になります。
危険ですのでおやめください。

▣ 日常の点検・お手入れ

日常点検およびお手入れを行なわれる場合、次の事項を必ずお守り頂いた上「日常の点検・お手入れ」の項に記載されたとおりに行なって下さい。

■点　検

⚠警告	● 点検前に必ずガスの元栓が閉じられていて、機器が冷えているかを確認してください。やけどのおそれがあります。 ● ガス管（ゴム管、ゴム管止め、可とう管など）の劣化や接続は必ず点検してください。ガス漏れの原因になります。 ● 機器の周辺に可燃物や危険物がないことを確認してください。

・点検・お手入れの際には必ずガスの元栓を閉じ、機器が冷えてから行って下さい。
・ゴム管接続の場合、ゴム管が、器具及びガス栓の両方共、赤い線まで十分に差し込まれていてゴム管止めが取り付けられているかを点検してください。
・ゴム管が古くなってひび割れしたり差し込み口がゆるんで、ガス漏れしていないかときどき石けん水などをかけて点検してください。
・機器の周辺に、紙・プラスチック・スプレー缶・油類などの可燃物を置いていないか点検してください。
・立消え安全装置付のものは立消え安全装置に汚れが付着していないか点検してください。

■お手入れ

⚠警告	● 酸性・アルカリ性の洗剤を、本体にかけないで下さい。ガス通路部品が腐食し、ガス漏れをおこし、危険です。 ● 本体を水につけたり、水をかけたり、丸洗いはしないでください。着火不良や不完全燃焼の原因となります。

・市販の業務用洗剤には、ガス器具に使用している部品を腐食させる成分が含まれている場合があります。洗剤の注意書などで成分を確認してください。
・本体に強力な洗剤の原液などを直接吹きつけたり、本体を丸洗いされますと、器具栓やガス導管などのガス通路の機能部品が腐食・破損しガス漏れなどにいたるおそれがあります。
・機能部品を清掃・お手入れされる場合は、布切れに中性洗剤を含ませて拭き取り、仕上げに濡れフキンで拭き取ってください。
・汚れのひどいゴトク、汁受け、底皿など本体より取り外しが出来る部品は本体より取り外しシンクなどで洗浄して、乾いた布などで拭いてください。
・機能部品に強い洗剤の原液などがかかった場合は、固く絞った濡れフキンなどで拭き取ってください。
・業務用洗剤をご使用時は洗剤の取扱説明書や使用上の注意をよくお読み頂き、従ってください。
・本体を水につけたり、水をかけたり、丸洗いなどはしないでください。機能部品やバーナに水がかかった場合は、必ず水気を乾いた布切れなどで拭き取ってください。

▣ 日常の点検・お手入れ（つづき）

■お手入れ道具と洗剤

使ってよいもの	
本体表面など	：●中性洗剤　●やわらかい布　●スポンジたわし ●ナイロンたわし　●シュロブラシ等やわらかいブラシ
こびりついた汚れ用	：●スクレーパー（へら）
バーナキャップ清掃用	：●真ちゅうブラシ　●針金

使ってはいけないもの	
●酸性・アルカリ性洗剤 ガス機器に使用している部品を腐食させ、故障やガス漏れの原因になります。	●スプレーボトル式洗剤 機器内部に洗剤が入りますと部品を腐食させ故障の原因となります。直接かけずに布などに含ませてからお手入れしてください。
●クレンザー（みがき粉）、金属たわし 部品や塗装の表面にキズがつき、サビなどの原因となります。	●ベンジン・シンナー・アルコール 部品や塗装の表面が変質し、変色・塗装はがれ、サビなどの原因になります。

機器の性能を維持し、衛生かつガス漏れによる事故や機器の故障、劣化などによる異常発生を未然に防止するため、日常点検および定期清掃は必ず行って下さい。

■点検・お手入れの際のご注意

・日常の点検・お手入れは、必ず行って下さい。
・特に煮こぼれした時は、必ずバーナの清掃を行って下さい。
・故障または破損したと思われるものは、使用しないで下さい。
・不完全な修理は危険です。万一具合が悪くなって処置に困るような場合は、お買い上げになった販売店にご相談下さい。
・点検・お手入れの際には必ずガスの元栓を閉じ、電源スイッチを『ＯＦＦ』にして、機器が冷えてから行って下さい。
・お手入れの際には指先に十分注意して下さい。
・機器内部をお手入れする場合は手袋を着用し行って下さい。各部品の突起等に力強く当たった場合、手を切ることがありますので注意して下さい。
・水をかけたり、多量の水を含んだ布等での清掃は避けて下さい。

※機器の内部には電気部品が内蔵されています。機器本体に水をかけたり、機器の底と設置台とのスキマに多量の水をかけたりすると、底部の空気穴等から水が入って漏電や機器故障の原因となります。

▣ 日常の点検・お手入れ（つづき）

■点　検

・各部品とも正しくセットされていることを確かめて下さい。
・バーナおよびその周辺に破損や不具合など異常がないか確かめて下さい。
・点火プラグとフレームロッドの周辺に異物の付着など異常がないか確かめて下さい。
・機器周辺に可燃物・障害物などがないか確認して下さい。特に機器周りのガラリは空気の取り入れ口となっていますので、ふさがない様に注意して下さい。

■お手入れ

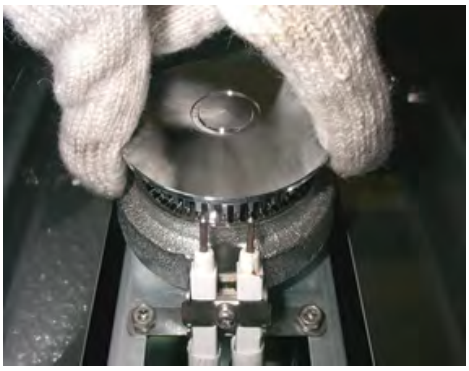
・本体は、吹きこぼれや炭化物が付着すると取れにくくなりますので、毎日１回手袋を着用して中性洗剤を含ませた濡れぶきんでふき取り、清掃して下さい。後は乾いた布で十分に水気をとって下さい。
・汁受けは毎日１回手袋を着用して中性洗剤で水洗いして下さい。乾燥後は元どおり装着して下さい。

■点火プラグ・フレームロッドの点検、お手入れ

点検
吹きこぼれや炭化物が付着した状態で使用を続けると着火に時間がかかったり、着火しない場合がありますので、必ず日常の点検を行なってください。

お手入れ
電極に異物の付着がある場合は、中性洗剤を含ませた布で清掃してください。碍子部（白いセラミック）に異物の付着がある場合には中性洗剤を含ませた布で清掃してください。

注意
電極は曲げない様に注意してください。



■バーナキャップのお手入れ

点検
油や炭化物が付着した状態で使用を続けると、異常燃焼を起こし火が消えたり、着火しない場合がありますので、必ず日常の点検を行なってください。

お手入れ
図のように『針金』『ブラシ』などを使用してバーナキャップの溝を掃除してください。油汚れが激しい場合は布に水と中性洗剤を少し付けて拭き取ってください。

お願い
ご使用の石鍋に大きなひび割れが出来た状態で使用されますと、多量の油が漏れてバーナキャプに付着し不具合が発生します。必ず、ご使用の石鍋に付属の説明書、または、本説明書の新しい石鍋の使い方の通りにならし焼きを行ってから使用して頂き、大きなひび割れが出来ないようにしてください。

■バーナのお手入れ

点検
油や炭化物が付着した状態で使用を続けると、異常燃焼を起こし火が消えたり、着火しない場合がありますので、必ず日常の点検を行なってください。

お手入れ
図のように『ブラシ』を使用してバーナの溝を掃除してください。油汚れが激しい場合は布に中性洗剤を少し付けて洗い、布で拭き取ってください。また、バーナ周辺の汚れも不完全燃焼の原因になるので汚れたら、掃除してください。

■ 故障・異常の見分け方と処置方法

原　因	ガスの臭いがする	点火しない・点火しにくい	着火・火移りがしにくい	炎が黄火で燃える	炎が飛ぶように燃える	異常な音をたてて燃える	炎が異常に小さい	炎が異常に大きい	炎が安定しない	使用中に炎が消える	処　置　方　法
ガス配管接続が不完全	○										ガス配管の接続を確実にする
ガス元栓の開きが不十分		○	○								ガス元栓を全開にする
ＬＰガスがなくなりかけている		○	○	○		○			○	○	新しいボンベと交換する
配管中に空気が残っている		○	○		○				○		点火操作を繰り返す
銘板表示のガスと使用ガスの不一致		○	○	○	○	○	○	○	○	○	ただちに使用をやめ、販売店に連絡し使用ガスに合った機器と交換
点火操作が適切でない		○	○								正しい点火操作を行う
電源が入っていない		○	○							○	電源コード･電源スイッチを入れて下さい
バーナの炎口が詰まっている	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	バーナの炎口を清掃する
バーナの取り付けが悪い		○	○	○	○	○		○	○		バーナを正しく取り付ける
立消え安全装置		○	○							○	Ｐ１６に記載の点火プラグ・フレームロットの項参照
バーナが劣化している		○				○				○	販売店に連絡し、修理して下さい

■ 長期間使用しない場合

長期間使用されない場合は各部を清掃し、電源スイッチを「ＯＦＦ」にして電源コードをコンセントから抜き、ガスの元栓を閉じて保管して下さい。

▣ アフターサービスについて

■サービス（点検・修理など）を依頼される前に

・　サービスを依頼する前に１６ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項でもう一度確認の上、それでも不具合な場合あるいはご不明な場合は、ご自分で修理をなさらないでお買い上げの販売店にご連絡下さい。
・　アフターサービスをお申し付けのときは、次のことをお知らせ下さい。
　①　製品名・製品番号（銘板に表示のもの）・ガスの種類
　②　住所・氏名・電話番号・道順
　③　現象（できるだけ詳しく）
　④　製品購入日・販売店・訪問希望日・時間帯

■移設される場合

・　移設によってガスの種類が変わる場合があり、その場合、工事や調整には専門の技術が必要になりますので必ずお買い上げの販売店またはもよりのガス事業者にご連絡下さい。
また、このときに要する費用は有料です。

■保証について

・　「正常なご使用状態」において、しかも「製造上の責任」により発生した機器の故障にかぎり、お買い上げ日より「１ケ年無償修理」といたします。ただし次の場合は保証期間中でも「有償修理」といたします。
　①　誤った使い方をされたときの故障　　②　移動によって生じた損傷・故障
　③　改造された場合の故障　　④　天災による損傷・故障
※修理によって機能が維持できるときは、お客様のご希望により有料で修理いたします。

■消耗品

・　消耗品は、保証期間中でも有償となります。（７ページを参照）

■補修用性能部品の最低保有期間について

・　業務用ガスコンロの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後５年です。

■連絡先

・　業務用ガスコンロをお使いになった上で、なにか不審な点や不具合な点がございましたらお買い求めになった販売店か当社へ連絡して下さい。

YAMAOKA
山岡金属工業株式会社
ＩＳＯ14001:2015／ＩＳＯ9001:2015認証取得
本　　社／〒５７０-８５８５　大阪府守口市東郷通２丁目７番３０号
ＴＥＬ.(０６)６９９６-２３５１　ＦＡＸ.(０６)６９９７-３０４５
東京支店／〒１０１-００５２　東京都千代田区神田小川町１-６-４　新福神ビル９階
ＴＥＬ.(０３)３２５５-６７５５　ＦＡＸ.(０３)３２５５-６７２２

ＵＲＬ　http//www.silkroom.co.jp / E-mail　info @ silkroom.co.jp
夢工房「技術・文化館」「技術・開発館」を本社に併設しております。

２０１８.１２（０２）